

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成22年12月9日(2010.12.9)

【公開番号】特開2010-171026(P2010-171026A)

【公開日】平成22年8月5日(2010.8.5)

【年通号数】公開・登録公報2010-031

【出願番号】特願2010-108660(P2010-108660)

【国際特許分類】

H 01 T 23/00 (2006.01)

【F I】

H 01 T 23/00

【手続補正書】

【提出日】平成22年10月21日(2010.10.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

予め画定された区域のためのイオン化システムであって、

(a) 各々の放射源モジュールが個別アドレスを有しかつ少なくとも1つの電気イオン化装置を含む、前記区域のあちこちに間隔を置いて配置されている複数の放射源モジュールと、

(b) 前記複数の放射源モジュールの各々を制御するためのシステムコントローラと、

(c) 前記複数の放射源モジュールを前記システムコントローラと電気的に接続するための通信線路とを備え、

前記放射源モジュールの各々は、各前記放射源モジュールに問題が発生したときに識別情報と各前記放射源モジュールに発生した前記問題のタイプを識別する警報状態情報を前記システムコントローラに送るように構成されることを特徴とするイオン化システム。

【請求項2】

前記識別情報は、前記個別アドレスを含む請求項1に記載のイオン化システム。

【請求項3】

前記システムコントローラは、警報を表示するためのリレーインジケータを1つもしくはそれより多く備える請求項2に記載のイオン化システム。

【請求項4】

前記システムコントローラは、前記識別情報および前記警報状態情報を視覚的に伝達するよう構成される請求項1に記載のイオン化システム。

【請求項5】

前記放射源モジュールの各々が、さらに、記憶された平衡基準値を含み、前記システムコントローラが、前記放射源モジュール各々の前記記憶された平衡基準値を個別に監視する手段を含む請求項1に記載のイオン化システム。

【請求項6】

前記放射源モジュールの各々が、さらに、記憶されたイオン出力電流基準値を含み、前記システムコントローラが、各前記放射源モジュールの前記記憶されたイオン出力電流基準値を個別に監視するための手段を含む請求項1に記載のイオン化システム。

【請求項7】

(d) 放射源アドレス設定と平衡調整機能とを有する遠隔制御送信機を備え、

各前記放射源モジュールが、さらに、記憶された平衡基準値と、前記平衡基準値に電気的に接続されておりかつ前記遠隔制御送信機に応答する遠隔制御受信機とをさらに含み、前記遠隔制御送信機は、各前記放射源モジュールの前記平衡基準値を個別に調整するよう構成される請求項1に記載のイオン化システム。

【請求項8】

(d) 放射源アドレス設定とイオン出力電流調整機能とを有する遠隔制御送信機をさらに備え、

前記放射源モジュールの各々が、さらに、記憶されたイオン出力電流基準値と、前記イオン出力電流基準値に電気的に接続されておりかつ前記遠隔制御送信機に応答する遠隔制御受信機とを有し、前記遠隔制御送信機は、前記放射源モジュールの各々の前記イオン出力電流基準値を個別に調整するよう構成される請求項1に記載のイオン化システム。